

多くの皆様の尽力で イベント 今夏の「写真の町事業」も無事閉幕

フォトフェスタ、写真甲子園、HIGASHIKAWAユースフェスをはじめとした「写真の町事業」は、多くの町民のみなさま&町外のボランティアのみなさまのご協力で成り立っています。今年も来場者みんなが笑顔になれる東川最大の夏イベントが無事閉幕しました。今回ご協力いただいたみなさまの一部を紹介します。

●写真の町企画委員会



町内の有志で構成された委員会。フォトフェスタや写真甲子園の企画運営などを行っています。

今年のフォトフェスタで「町内一円を会場にする」というアイデアもここから生まれました。



●ホストファミリー

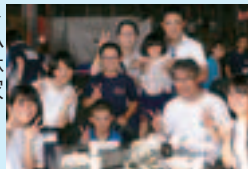
▶香川家



▶梶田家



▶小林家



▶正垣家



▶田淵家



▶豊口家



写甲選手やフォトふれの受け入れをしていただいています。みなさんのあたたかい歓迎が、選手たちが「また東川に来たい！」と思う大きな理由のひとつ。

●炊き出しチーム

商工会女性部、農協女性部、消費者協会、日赤奉仕団、自治振興会のみなさんに、毎年写甲期間中の選手・監督やスタッフの食事を作っていただいています。英気を養うにはまず食事から！



●写甲OB・OG

過去に写真甲子園本戦を戦い抜いたOB・OGも舞台裏で活躍しています。中には毎年ボランティアに来ていただいている方も。

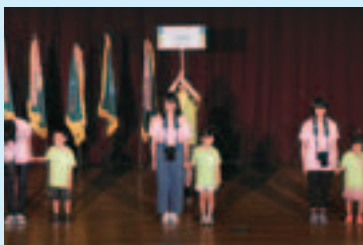


●学生ボランティア



地元・東川高校と旭川福祉専門学校のほか、上富良野高校、美瑛高校、旭川北高校、旭川工業高校、旭川実業高校、旭川商業高校のみなさんにお手伝いいただきました。

●エスコートキッズ



みどりTシャツを着た幼児センターの子どもたちは、写真甲子園開会式にて選手入場をエスコート。選手たちの緊張を和らげるのにも一役買っている大切なおしごとです。

●東小スクバン



映画『写真甲子園 0.5秒の夏』の主題歌「latitude～明日が来るから～」で写甲開会式の開幕を彩った東川小学校スクールバンド。選手たちの熱いひと夏を予感させました。

▶それぞれのイベントの様子は次ページ以降でご紹介します▶